

医薬品の入手困難に関する緊急アンケート結果

2023年10月20日

香川県保険医協会

日医工と小林化工の薬機法違反に端を発する医薬品の不安定供給は、新型コロナ流行による追い打ちもあり、現在もなお事態の收拾に至っていない。

香川県保険医協会では、「投薬したくても薬がない」「必要な処方日数分が出せない」などの深刻な声が寄せられていることから、2023年10月、香川県保険医協会の開業会員を対象に実態調査を行った。その結果を発表する。

このアンケート結果は、関係省庁への要請とともに、事態を知らせるべく香川県選出の衆参国會議員に提供し、早急に国の責任において事態の打開を図るよう、臨時国会や通常国会で取り上げるよう要請を行う。

アンケート対象者 香川県保険医協会開業会員461名（医科：210名、歯科251名）

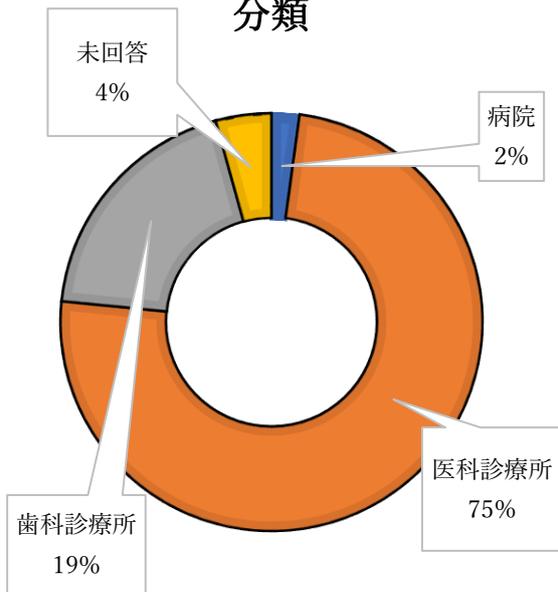
アンケート実施期間 2023年10月3日～10月20日

アンケート実施方法 2023年10月3日FAX一斉送信、FAXで回答

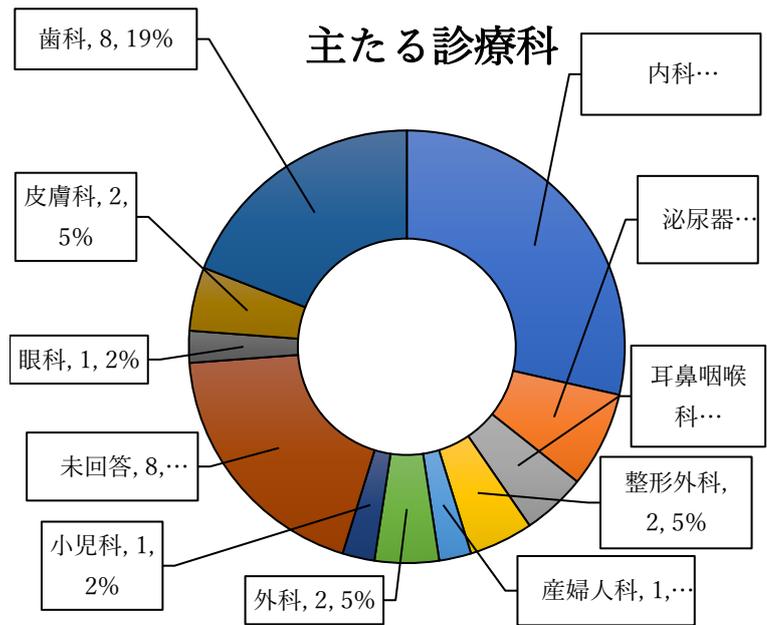
回答数 47件（回答率10.2%）

1. 基礎情報

分類



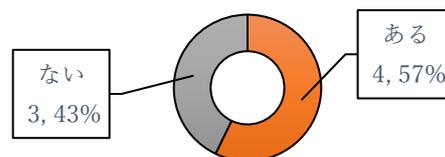
主たる診療科



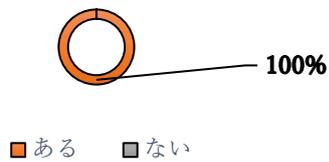
医科



歯科



病院



2.今年8月以降入手困難な医薬品はありますか？

①全く入手できない医薬品

医科診療所

1. 咳止め薬(アストミン錠 10 mg, フスコデ配合錠, コデインリン酸塩錠 5 mg, メジコン錠 15 mg)
2. トランサミン錠 500 mg錠, グルタチオン注射用 200 mg
3. アスベリン錠, ミルタックス, トラネキサム酸, レスプレナム, ムコダインシロップ, トルリシテイ
4. ラシックス, ナウゼリン OD 錠, ローコール 20 mg, メジコン 15 mg, デパス 0.5 mg, ロスバスタチン OD5 mg, ハイシー顆粒, リン酸コデイン (5), ムコダイン (500), トランサミン 250 mg,
5. ホクナリンテープ
6. 禁煙薬 (チャンピックス)
7. ラスチノンラボー125 mg, 250mg
8. ニフェジピン, フスタゾール, ムコダイン、トランサミン, アスベリン, 咳止め, 感冒
9. アスベリン散, アスベリンシロップ, アスベリン 10 mg, アストミン錠, カルボシステインDS
10. カルボシステインシロップ, アセトアミノフェンDS
11. 消毒剤
12. トルリシテイ, リン酸コデイン
13. 咳止め, アトソルビン, ビタミン剤, セレスタミン, プスコパン
14. フスコデ, セルベックス
15. ジェニナック, アンジャロ皮下注
16. 喀痰改善薬, 咳止め (メジコン 15mg, アスベリン 20mg, アスベリンシロップ)
17. 総合感冒剤
18. チザニジン、セレスタミン、サイビスク、イコサペント、麦門湯、テプレノン
19. 咳止め全般、舌下免疫療法薬 (シダキュア 3300JAU)
20. 咳止め、抗生剤、抗うつ剤 (マプロチリン)
21. タフマック等の消化薬

歯科診療所

1. 歯科麻酔薬, カロナール

病院

1. ウロキナーゼ,スルペラゾン

②今後入手困難になりそうな医薬品

医科診療所

- 1.喀痰改善剤,咳止め (メジコン,アスベリン,アスベリンシロップ)
- 2.メジコン,アスベリン,オゼンピック,タフマック,ナウゼリン,SG 顆粒,オロパタジン
- 3.点滴の抗生剤
- 4.トランサミン (止血剤)
- 5.コロナ治療薬
- 6.咳止め,痰切り,解熱薬,抗生物質,ビタミン剤
- 7.咳止め (アストミン) モサブリド,シロドシン
- 8.フスコデシロップ,アセトアミノフェン
- 9.アスベリンシロップ,ムコダイン DS
- 10.ツムラ葛根湯,ツムラ麦門冬湯 (漢方)
- 11.咳止め,CLP-1 受容体作動薬 (オゼンピック,トルリシティ)
- 12.ビタメジン,シナール,咳止め,37 mmクオリティーモニター (黒)
- 13.トランサミン (止血剤,抗痰剤) アスベリン
- 14.解熱剤、糖尿病薬
- 15.ムコソルバン、ツムラ①、アスベリン、亜鉛華軟膏、デカトロン
- 16.咳止め全般、舌下免疫療法薬 (シダキュア 3300JAU)
- 17.アストミン、タムスロシン、ニフェジピン、ファステック、ベンズブロマロン、イコサペント、カルボシステイン、トルリシティ皮下注アテオス、漢方 (55, 91, 95, 29) 咳止め

歯科

- 1.キソニン錠,カロナール錠,カロナール細粒,キシロカインカードリッジ
- 2.麻酔薬剤、注射針

病院

- 1.不妊治療薬 (女性ホルモン,HCG など)

3. 医薬品が入手できなくなったことで診療への影響は起きていますか？

医科診療所

- 1.咳止めなど処方するのに代替品を処方するのが辛い。
- 2.咳症状のある症例への処方ができない。
- 3.投薬治療が出来ない。
- 4.冬場に点滴の抗生剤が入ってこなかったため、患者の治療に影響があった。
これから寒くなってくる為不安である。
- 5.投薬が出来ない。患者への不満
- 6.風邪の処方が出来ない。ミルタックスは他のもので変えた。

- 7.現在少しずつでも何とか入ってきているので、診察にはさしつかえない。
- 8.新型コロナの治療など診察が出来なくなる恐れがある。
- 9.コロナや風邪の人の処方に困る。
- 10.咳止めが処方出来ない。
- 11.処方が難しい
- 12.他剤への変更がせまられるが、血統コントロールに変化がある。
- 13.咳の症状が強い方に処方できない、糖尿病の治療方針に影響あり。
- 14.安定して処方できない。
- 15.使用できる薬品が限られる。継続投薬に困難なことが多い。
- 16.小児用のくすりが入ってこないので、小児科の受診をお願いしている。
- 17.日数変更して処方している。
- 18.患者に説明して今ある薬を処方している。
- 19.熱さましが半分希望の患者さんに坐薬に変更するなどして処方している。
- 20.外来診察が困難
- 21.疾患に対する適切な治療薬が選択できない。
- 22.薬、注射を変更しているが治療に困る
- 23.代替薬変更が困難
24. 同じ処方が継続できない、自分が思った治療ができない。
25. 定期薬の変更、患者への説明、他剤購入の交渉など手間が増えている。
医師、職員の労働時間の延長や増加にもつながっている。
- 26.咳止めは量を必要最小限にして処方している。常用量より少ない場合もある。
舌下免疫療法シダキュアは新規開始ができない。
- 27.漢方薬は薬局にもないため特に急ぐ感染症の治療などに支障がでている、点滴薬も入手困難になるときがある。
- 28.抗生剤について、セファム系からペニシリン系へ移行しようとしたが、元々の卸業者の方からの入手が困難なため、納入できない。現在使用している医薬品については問題ない。

歯科

- 1.何かと代用品でカバーしている
- 2.キシロカインの供給が不足した時に代替品を探したり、薬品会社などへ問い合わせなどをしたりして、いつ今ある在庫がなくなるか、心配しながら診察をしている。
- 3.投薬ができない。
- 4.診療に支障がでる可能性あり。
- 5.特にないが、少人数の患者さんから胃薬と併用しなくて良いか聞かれた。
- 6.在庫がなく、いつ欠品するか不安

病院

- 1.院外薬局よりの処方変更依頼や注しなどの外来業務医療の質の低下がおこる。

4,日医工と小林化工の薬機法違反の発覚（2020年4月）から既に3年が経過しているにもかかわらず、医薬品の不安定供給が今なお解消されていないことへのお考

え、国への要望等をお聞かせください。

医科診療所

- 1.国は後発薬を勧めながら後発薬のメーカーを口じめるばかりで後発メーカーをしっかりサポートし補助金を出すべきである。
- 2.メーカーが不採算薬品の再生産をやめていると聞いたが本当なのか？
- 3.他国に仕入れ競争で負けているのではないのか、薬価が低すぎるのも問題の要因ではないか。
- 4.薬価の下げすぎ。
- 5.メーカーの稼働低下、医薬品安定供給のシステム
- 6.どうして供給されないのか不可解な状態
- 7.ジェネリックを増やすことが不安定供給の原因になってないか。
- 8.国は先発品よりジェネリックの使用をすすめているが、ジェネリックが入手できない状況卸からの出荷制限品であるといわれる。安定的な供給体制が必要
- 9.物価が上がっているのだから、薬価も上げるべき
- 10.超高価な新薬の導入よりも、古くから有り薬効安定のある薬剤が不足することが無いようにこれらの薬剤の薬価に対して再検討する必要がある。
- 11.国が指導し、供給体制を整えてほしい。
- 12.国は前場のことを全く考えていない。薬がなくて困るのは患者そして医師は薬がなくて謝りつつけている。
- 13.不思議な事です。コロナの影響で人手不足、物流の影響もあるのかなとも思ったりしますがふにおちない。言うまでもなく厚労省を中心としてガンガン手を打つべし。

病院

- 1.物価高、生産コスト増に対する薬価の検討をしてほしい。
代替薬のない製品の販売中止への対策保護など

歯科

- 1.お金にならない薬はつくりませんという感じだと思う。製造者に損させないようにして必要な医薬品を作れるような仕組みを作ってほしい。現場の実績をしっかり把握できているのか？